

15 これからの情報発信手段として取り入れるべき媒体等をお答えください。(自由記述)
LINE、メール、HP、広報、ショートメッセージ、フリーペーパー、TV
広報ながくて、市ウェブサイト
LINE
LINE、Twitter、フェイスブック等SNS
LINE、Twitter
Instagram ツイッター ライン
媒体の増加より、発信頻度を上げて下さい。
LINE
年寄り向けの情報手段と人間関係を作る町内活動
中日 ホームニュース
LINEやTwitterInstagramなど、流行りのものを取り入れるのも良いと思いますが、年配の方はなかなか接するのも難しいので、今までの方法も使っていった方がいいと思います
市民向けには複数世代にリーチしている感じがするので充分だと思います。市のアピールという面では目的によりコンテンツ内容に合わせた媒体戦略が求められると思うので難しいところです
Instagramをよく見るので活用してみてもはどうでしょう？
外国人観光客向け メタバース YouTube 市内向け Twitter 文化の家のように
フェイスブックに市の広報頁が欲しい
Twitter
ライン、YouTubeなど
Instagram
イベント、会議、介護施設、認知カフェ、児童館などをオンラインストリーミングでリアルタイムの配信すれば、市民の関心がより深まると思います。

今、話題になっていることを知りたい時、世間ではどんなことで盛り上がっているのか反応を見たい時等は『Yahoo!』サイトのリアルタイム検索を行うことが多い。その観点で言えば『Twitter』の活用は必要か。ラジオや『Facebook』を駆使している立場としてはこれらのツールも必携と感じる。

LINE

長久手はどんな町なのかを楽しく紹介するTikTok

インスタ、tiktok

LINEをやっていない人にも情報を届けて欲しい。
自分では、広報ながくてが唯一の情報源です。Facebookも見ますがリアルタイムでは無いです。

ペーパーレス・電子化
電子申請

リニモの駅構内外のイベント情報ポスター掲示が、頻繁に利用客の目に入る場所ではなく勿体ないと感じます。愛知高速交通さんとの兼ね合いもあるのですが、リニモ沿線であればリニモの利用を促進しますし、長久手市への来訪者増加で活気も出ますし、Win[sanitize]Winではないでしょうか。うまく活用してほしいと強く思います。

ツイッター等も取り入れていくべきだと思う。しかし、まず、市のホームページが使いにくい。更新等もされていなかったりする。

市のPRにTwitter

YouTube

LINE

HPでもいいが、逐次更新されたい